



聖徒のための情報誌

今月号の内容

- 盂蘭盆会 (1面)
- 蓮正寺庫裡新築落慶法要
- ローカルニュース (2面)
- 暑中お見舞い (3・4面)
- 日蓮大聖人の歩まれた道
- 聖徒の声・法華経のお話 (5面)
- よろこび法話 (6面)

平成25年(2013年)8月1日(木)

8月号

発行所
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町3-25-11
九段中央ビル702
日蓮宗霊断師会九段事務所
電話 03-6272-9340
FAX 03-6272-9341

日蓮宗霊断師会

会長 新聞 智雄
編集人 松本 恵昌
購読料 1部 105円
毎月1回1日発行

日蓮宗霊断師会ホームページ
http://www.yorokobi-reidanshikai.jp
よろこび投稿メール
yorokobi@yorokobi-reidanshikai.jp



祖霊と心の交流
(ご先祖さまの里帰り)
今年も「盂蘭盆」の季節になりました。お盆は、一年ぶりにご先祖さま一行が、懐かしい我が家に帰って来られる日です。ご先祖さまを始め、亡き両親や兄弟、また先に逝った子供のみ魂を我が家に迎え、お線香をあげて回向をして、お世話になったご恩に感謝し、今の家族の姿を見てもらい、共に語り合うすばらしい行事であります。お盆には、お墓参りをして灯籠を灯し、盆提灯を先頭にみ霊を自宅までご案内し、家の門口で迎え火を焚き、座敷の上座に詠えた精霊棚にお迎えします。ここでみ霊は十三日より十六日まで三泊四日お泊りになりますので、お花や果物、菓子やお酒等々、沢山のお供物を供えて歓迎をいたします。特



日蓮宗霊断師会 指導局局長
神奈川県小田原市 本典寺聖徒団团长
戸田 教 栄



お盆の由来
ある日、目連尊者は、亡くなった母が今どうしておられるのか、安らかに暮らしている様子を見ようと思ひ、神通力を使って仏界や天上界をすみずみまで探しまし、た。ところがどこにも母の姿はありません。そして、やがてまさかと思っていた餓鬼道の世界で、瘦

失われる心のふるさと
お盆は、今ではすっかりその本意が失われ、単にお祭りや長期休暇のように思われています。本来は故郷へ帰省して墓参をするはずが、温泉や海外旅行へのレジャー週間へと変わり、昔から先人が大切に守ってきた多くの故郷の伝承行事が失われ、合理主義の名のもとで、神仏への畏れの感情や、拝む心まで失ってしまひ、人間の尊厳もどこかに行つてしまつたやうに感じられます。見えるものや物欲を優先して、見えないものへの感謝や、霊魂の存在を信じる人が少なくなつていゝます。

に初めての里帰りになる新仏(新盆)さまは特別に大歓迎をします。そして、精霊棚の前で、家族や親せき、兄弟友人、お世話になった人達が集まりお参りをして、み魂に現況を報告します。その時、私達の心とご先祖様の御魂が一つになるのです。

せこけてあわれな姿の母を見つけます。驚き茫然として目連尊者に、母は食べ物や水を求めます。目連尊者は、神通力をもって沢山の食べ物や水を母に送りますが、すべてが燻と変わり母を苦しめ、冷たい水を送つても、それは業火となつて、さらに母を苦しめます。もはや自分の力ではどうにも出来ないことを悟つた目連尊者は、ついに「お釈迦さまに「どうか母を助けて下さい」と懇願するのでした。

日蓮大聖人さまの教え
日蓮大聖人さまは、『盂蘭盆御書』というお手紙の中で、目連尊者が母を救つた功德について次のように示されています。「目連尊者が法華経を信じられた大善は、自分自身が仏になるばかりでなく、父母も仏にしたことです。しかも上は七代の祖先、下は七代の子孫上は無量の間、下は無量の間のすべての父母たちが、仏となることが出来たのである」と述べられています。「盂蘭盆」と云う言葉には「倒懸(逆さずりの苦しみ)」という意味があります。また、これにはものごとを正しく見る事の出来ない自分勝手な、自己中心のな、と云う意味もあります。

お釈迦様は、「目連よ、そなたの母は罪が深く、そなた一人の力では母を餓鬼道の苦しみから救う事は出来ない。けれど一つだけ方法がある。僧たちの夏の修行が終わる七月十五日に多くの僧を招き、沢山の供物をささげて供養すれば、母の苦を必ずや救う事が出来るであろう」と教えられました。さつそく目連尊者はその教えの通りに供養をしました。すると、不思議にも母は苦しみの餓鬼界から抜け出すことが出来たのです。

これが「お盆」の由来であり、大勢のお坊さんに供養をし、餓鬼に施食をすることを「施餓鬼会」といいます。

でした。だとすれば、その原因の一端は子供である私達にもあると云えるでしょう。お盆は、法華経を信じお題目を唱えて、ご先祖さまの霊魂を迎えてご供養すると同時に、私達みずからが懺悔をして報恩感謝をする時でもあるのです。

霊山浄土 (お題目信仰の確認)
法華経の信仰を持った私達は、肉体的な「死」を迎えると、その魂は極楽浄土ではなく霊山浄土へ往くのです。霊山浄土とは、仏さま(久遠実成の本師釈迦牟尼仏)がおられるところであり、私達の安住の地。日蓮大聖人さまも「霊山浄土で待つている。霊山浄土で会いましょう」と繰返しお述べになられています。法華経の信心を持ち、俱生神月守を着帯し、お題目の生活を受持していれば、やがて肉体的な「死」が訪れても、霊山浄土で仏さまや日蓮大聖人さまにお会い出来る喜びが待っているのです。また、先に逝つた法華経の信心を持った人々や家族にも再会することが出来るのです。

良き死後(後生善処)が確信されてこそ、今を安心して過す(現世安穩)ことが出来るのです。お盆には、家族で霊山浄土や死後のこと、ご先祖様やお墓のことを話し合つてみませんか。それは、自分と家族のお題目の信仰を振り返る良い機会となるでしょう。



津軽宇田山 閻法寺
8月15日 午後2時より
「お盆流し灯籠供養祭」
毎月 最終日曜日「盛運祈願会」
〒030-1403
青森県東津軽郡外ヶ浜町平館元宇田52-2
TEL 0174-25-2712
住職 工藤 堯幸
副住職 工藤 堯博・修徒 工藤 堯顯

妙正寺聖徒団 大平 恵未
旭川FMリベールFMラジオ 8月7日
「マダムケコ」のちよと長話
8月20日、26日午前11時より
閻魔大出演中
インターネットでも聞くことが出来ます
サイマルラジオから
旭川FMリベールをクリック
8月15日(木)午前11時
盂蘭盆大塔婆施餓鬼供養会
毎月1日午前10時 盛運祈願会
妙正寺聖徒団 团长 関 龍雄
〒071-1423
北海道上川郡東川町東町2丁目6-3
TEL 0166(82)2714 FAX 0166(82)2914

いかされるよろこび
美濃乃國
常唱寺 聖徒団
〒501-3734
岐阜県美濃市千畝町2738-2
TEL/FAX 0575(33)1430

本山 妙顕寺
天目聖人御報恩
平成屋根等大改修
ご寄付募集中!
●郵便振替
口座番号 00180-6-267327
口座名義 妙顕寺建設委員会
〒327-0843 栃木県佐野市堀米町264
TEL 0283-22-1524
FAX 0283-22-4194
http://www.sano-myokenji.jp

日蓮宗霊断師会会長
感通寺聖徒団团长
新聞 智雄
〒162-0044
東京都新宿区喜久井町39
TEL 03-3209-8782
FAX 03-3208-7966

蓮正寺「庫裡新築 落慶法要」を厳修

四月十四日、大分県由布市狭間の蓮正寺聖徒団(飯盛義教団長)で、「庫裡新築落慶法要」が厳修された。

法要に先立って稚児行列・記念写真が行われ、稚児装束を纏った沢山の子供達に紛れ、まさかの「稚婆ちゃん」がサプライズで現れた。これは戦前・戦中の大変貧しい時代に稚児行列に参加できなかった檀信徒のお婆さん達に、念願の稚児行列に参加して頂くという飯盛団長の粋な計らいで、法要参加者一同、驚きながらも大変微笑ましくこの光景をお祝いした。

一日伝道は、本会副会長・吉田亮

善講師(島根県妙本寺聖徒団長)。「私達が生きていく上で、何人の皆様の手(手助け)を借りてきたか、庫裡新築もまさに皆様の手のお陰、その手は仏さまの手でもありません。私達自身が仏となり、皆を手助けし、皆で共に幸せになりましょう。」との記念法話を頂戴した。

庫裡新築落慶法要は、天童(稚児)による献灯・献花・献香の供養の後、法要式に則り、荘厳かつ厳肅に執り行われ、記念品の



稚児行列

授与・祝辞の後、当山住職・聖徒団長の飯盛義教上人の謝辞をもって閉式。法要終了後は、清興として尺八や三味線、ギターの演奏、飯盛住職自らの太極拳の披露等が行われた。さらにお新築された庫裡は、最近のト



新築された庫裡

レンドを取り入れ、太陽光パネルを取り付けるなど環境に配慮された最新の建築であり、法要に参列した檀信徒一同は、ま新しい斬新な庫裡の全容に感嘆しつつ、さらなる蓮正寺の護持丹精を誓い散会した。



「一日伝道」吉田亮善講師(本会副会長)

ローカルニュース (愛知名古屋)

『第七回お寺deフェスタ』が開催

五月十九日(日)、名古屋市長東区本成寺聖徒団(天野行淳団長)において『第七回お寺deフェスタ』が開催された。

この催しは地域の方々や、お寺とご縁の無かった方々の結縁のきっかけになるようにと「幸せの発信」をテーマに、日蓮宗宗務院、日蓮宗名



コーラス合唱

古屋宗務所、地元・名東社口商店街協同組合の協力のもと開催されている。

開催を待ち望んだ約二百名の参加者が見守る中、第一部はウクレレ隊によるお寺deフェスタテーマ曲「ありがとう」の演奏で始まった。この曲はイベントに強く賛同した石濱豊さんの作詞作曲で、本成寺に対しての感謝の気持ちが歌詞に綴られていた。

テーマ曲に続いてコーラス合唱、堅琴を意味する「ライアー」という西洋楽器を使った演奏、金管アンサンブル演奏、力強い和太鼓演奏、出演者全員によるテーマ曲「ありがとう」の合奏が行われ、それぞれの演奏に参加者は心弾ませながら耳を傾けていた。

第二部では飲食物の販売が行われ、境内地は集まった人々の憩いの場となった。また射的や輪投げのコーナーでは、毎年楽しみにしている子供たちの長蛇の列ができた。第三部では「祈りの法要」が行われ、申込みされた各祈願が読み上げられると、参加者は心をひとつに掌を合わせ、お題目を熱心にお唱えしていた。



和太鼓演奏

結びに天野団長(同寺住職)による法話があり、「良き思い」を皆が共

本成寺 お寺deフェスタ テーマ曲 『ありがとう』 Song By 石濱豊

楽しもう本成寺! お寺で お寺deフェスタ!
今年もきましたこの季節 うぐいすの声もほがらかに
太鼓の拍子に誘われて 寺に笑顔の花が咲く
お隣さんも お向かいさんも 袖振り合うのも多生の縁で
みんなが集まるそれだけで 楽しい笑顔の円となる
今は時代と言う名の波に 一人でこぼれただけ
今日はお祭り楽しむだけさ 一緒にいこう

*1 あなたが居るから(あなたの) 私が居る(おかげさま)
みんながみんな(あなたもわたしも) 誰かの おか げ!
みんなの笑顔に(あなたに) 出会えて感謝(心から)
幸せになるこの気持ち ありがとう!

笑おう本成寺! お寺で お寺deフェスタ!

さあ祭りだ楽しもう 上から見守る観音様も
笑顔がいっぱい集まれば 今日拍手しているよ
あなたの笑顔で みな笑 笑顔は世界の共通語
笑う門には福が来る 福がきたなら幸(さち)も来る
今は便利な時代だけど 人は眼中横暴さ
だけど今日だけすべて忘れて 一緒に笑おう

*2 あなたに感謝(であえて) みんなに感謝(ありがとう)
本当の幸せ(あなたもわたしも) みんなの おか げ!
感謝の気持ち(心から) 5文字の言葉(あなたに)
笑顔添えて伝えよう ありがとう!

一人で 楽しむ満足も たまには良いけれど みんなで笑った幸せは
もっともっと(もっともっと) ずっとずっと(ずっとずっと) たのしいぞ!

《*1 *2 繰り返し》

ありがとう本成寺! お寺で お寺deフェスタ!

もともと妙本寺では毎年五月に吉田憲由上人を講師として招き伝道布教を行っており、今年で十一年目となる。

吉田講師は各寺院でそれぞれ心の和むあいさつ、そしてユーモア溢れるお話しで檀信徒を笑顔にし、心をほぐして話を聞きやすくして下さる。

一貫してお話しいただいたことは、お題目のありがたさを知ること、信仰に目覚め、自分自身の本当の願いを教え、導いてくれる。

そして、そのきっかけをくれるのが霊断法、俱生神月守、毎月の「盛運祈願会」であるということ



吉田憲由講師(本部・聖徒部長)

一日伝道報告 『島根県』

五月、毎月の「盛運祈願会」に併せ、島根県五力寺合同での「一日伝道」が行われた。講師先生は宮崎県吉田憲由上人。

一日の午前中に雲南市妙法寺(新聞信應団長)、午後より出雲市大慶寺(文谷孝順団長)。

二日には出雲市延福寺(梅木功健団長)。

三日には午前中に雲南市妙本寺(吉田亮善団長)、午後より出雲市為久寺(岡田法弘団長)、と休む間もなく五力寺にわたり伝道布教が行われた。



参加された聖徒の方々

であった。

吉田講師は自身の初霊断の体験を交えながら、その時の霊断法によって苦悩から解放された檀信徒のお話しをされ、霊断法は進むべき道を照らして下さり、必ず正しい方向へ導いていただけると説かれた。

「お題目はお天道様。人と人との間にある冷たいものを溶かしてくれる。」

今まで分かり合えることのできなかった親子の縁が時空を超え、お題目が繋いでくれたというお話を、熱い言葉で檀信徒に話す吉田講師を通して会場は感動に包まれていた。

檀信徒は、皆一様にお話しに集中し、涙を流しながら聴き入る方も多くみられ、すばらしい一日伝道となった。

最後に吉田講師は、毎月お守をかかさず着帯し、「祈願会」に来ること、お題目修行をすること、必ずその人の一番望む場所へと導いていただけると伝え、今後の精進を願われた。

暑中お見舞い 申し上げます

～日蓮宗霊断師会～

日蓮宗霊断師会会長
感通寺聖徒団团长

副团长
新間 智雄

副团长
新間 正興

〒二六二〇〇四四
東京都新宿区喜久井町三九
TEL〇三三三〇九一八七八二
FAX〇三三三〇八七九六六

日蓮宗霊断師会副会長
利生寺聖徒団团长

末吉 観道

副团长
末吉 正道

〒九三〇〇〇五五
富山県富山市梅沢町三一六一〇
TEL〇七六一四二二一八七七六
FAX〇七六一四二二一八二五〇

日蓮宗霊断師会副会長
妙本寺福德聖徒団团长

吉田 亮善

〒六九一〇〇四二
島根県出雲市十六島町二五二二
TEL〇八五三一六六〇五六八

日蓮宗霊断師会副会長
日蓮宗宗会議員同心会幹事長
正蓮寺聖徒団团长

大塩 孝信

〒二九〇〇一五二
千葉県原市瀬又一三四一
TEL〇四三六一五二〇二〇七
FAX〇四三六一五二二二八八

日蓮宗霊断師会理事会議長
日蓮宗常任布教師

讃岐 大玄

〒七九四〇〇一六
愛媛県今治市中浜町四一拾八
TEL〇八九八一三二二二四七
FAX〇八九八一三二二八三九

日蓮宗霊断師会理事会議副議長
圓立寺聖徒団团长

近藤 潮賢

〒四六六〇八四一
愛知県名古屋市中区妙見町一〇五七
TEL〇五二一八三二一九八二八
FAX兼用

日蓮宗霊断師会総局長
真浄寺聖徒団团长

建 光行

〒八七一〇七二六
大分県中津市山国町中摩六三一五
TEL〇九七九一六二二七三六
FAX兼用

日蓮宗霊断師会総合研究所長
本山妙顕寺聖徒団团长

齊藤 日軌

〒三三七〇八四三
栃木県佐野市堀米町二六四
TEL〇二八三三三二一五二四
FAX〇二八三三三二四一九四

仙寿院聖徒団团长

芝崎 惠應

〒二六〇〇〇三二
岩手県釜石市大只越町二一九一
TEL〇一九三二二二二六六
FAX〇一九三二二二二五〇

青森県開法寺聖徒団

住職 工藤 堯幸
副住職 工藤 堯慎
執事 工藤 堯顯

護持員 最上 一
信行委員 最上 誠規
寺務委員 掛村 隆二

外檀信徒並信行会々員一同

〒〇三〇一四〇三
青森県東津軽郡外ヶ浜町平館元字田五二二
TEL〇一七四二二五二七二二
FAX〇一七四二二五二六〇七

被災地復興・復興のご支援感謝申し上げます
今後ともよろしくお願ひ申し上げます

法華寺聖徒団团长

阿部 是秀
副团长 阿部 是真
靈断師 菊池 妙栄
靈断師 前川 是調

〒〇二八〇三〇四
岩手県遠野市宮守町下宮寺三一六九一
TEL〇一九八一六七三二六六
FAX〇一九八一六七三二二七

日蓮宗霊断師会常任理事
妙正寺聖徒団团长

関 龍雄

〒〇七一四二二三
北海道上川郡東川町東町二一六一三
TEL〇一六六八二二二七二四
FAX〇一六六八二二二九一四

日蓮宗霊断師会理事
妙福寺聖徒団团长

野澤 壯監

〒三三九一三三二
栃木県さくら市馬場一〇八一
TEL〇二八一六八二二〇二二
FAX〇二八一六八二二二九九

日蓮宗霊断師会理事
妙法寺聖徒団团长

牛居 一英

〒五四六〇〇四二
大阪府大阪市東住吉区西今川二二二四
TEL〇六一六七〇二二二一四
FAX〇六一六七〇二二二一〇

日蓮宗霊断師会理事
圓融寺聖徒団团长

山口 忠信

〒六七五二二〇二
兵庫県加西市北条町栗田三三八
TEL〇七九〇一四二二二一八
FAX〇七九〇一四二二〇三九七

長宗寺聖徒団团长

光枝 海元

日蓮宗霊断師会常任理事
光枝 浩生

〒一〇〇〇四〇二
東京都新島村本村三一四
TEL〇四九九二一五〇二六八
FAX〇四九九二一五〇二一一

日蓮宗霊断師会理事
圓立寺聖徒団团长

中村 公一

〒五一四二二二二
三重県津市高野尾町四五七五
TEL〇五九一三三〇〇五五七
FAX兼用

本妙寺聖徒団团长

村口 泰慈

〒七九九一三三三
愛媛県西条市国安四二
TEL〇八九八―六六―五四〇九
FAX〇八九八―六六―六一六〇

日蓮宗霊断師会総務局局長
顕忠寺聖徒団团长

松尾 義隆

〒八三五〇一五
福岡県みやま市山川町原町一四一
TEL〇九四四―六七―〇五三三
FAX〇九四四―六七―二〇七二
日蓮宗霊断師会総務局
TEL〇九四四―六七―二九三〇

日蓮宗霊断師会組織局局長
本成寺聖徒団团长

天野 行淳

〒四六五〇〇一四
愛知県名古屋市中東区上菅一―三〇三
TEL〇五二―七七―一七四七四
FAX〇五二―七七―一七五七二

日蓮宗霊断師会指導局局長
本典寺聖徒団团长

戸田 教栄

〒二五六〇八一六
神奈川県小田原市酒匂三―一―一十七
TEL〇四六五―四七―四八一三
FAX〇四六五―四九―三三三三

日蓮宗霊断師会伝道局局長
常國寺聖徒団团长

濱田 壽教

〒七二〇〇四一一
広島県福山市熊野町甲一四八―一
TEL〇八四―九五九―〇〇〇六
FAX〇八四―九五九―二二〇六

日蓮宗霊断師会教宣局局長

松本 恵昌

知見会信行寺聖徒団团长
和歌山県和歌市杭ノ瀬五六―一―一五
TEL・FAX〇七三―四七―一八二五二
知見会海禪院聖徒団团长
和歌山県和歌市和歌浦中三―四―二八
(顕彰会事務局)
TEL〇七三―四四七―一八九〇
FAX〇七三―四九九―四九九六

東日本大震災ご支援御礼

陸中山田善慶寺聖徒団团长
三浦 恵伸
(本部理事・総合研究所副所長)

善慶寺・龍王寺
二級霊断師 三浦 歌子

総代世話人 役員一同

〒〇二八―一三三三

岩手県下閉伊郡山田町北浜四―一―一

TEL〇一九三―八二―二七六五

北上市龍王寺聖徒団团长 一級霊断師 三浦 恵導

〒〇二四―〇〇五六

岩手県北上市鬼柳町鼠川原一七五―二―二

TEL〇一九七―七二―二〇一七

FAX〇一九七―七二―二二三五

ホームページ: <http://hi-to-navi.net>

日蓮宗霊断師会理事
寿泉寺聖徒団团长

根師 哲朗

〒七二〇〇八三三
広島県福山市水呑町一六一―四
TEL〇八四―九五六―〇一九八
FAX〇八四―九八二―八九六七

会長 笹部 一真
副会長 堀江 泰誠

島根県霊断師会

事務局 文谷 孝順
会 員 一 同

日蓮宗青森県霊断師会

会長 飛鳥 玄龍 副会長 工藤 泰輝
幹事長 對馬 央文 総務担当 川上 洋行
監事 工藤 堯慎 伝道担当 葛原 圭静

事務 工藤 堯顯

通信員 山崎 随祥 山田 瀧仙

理事 木立 智大

小野 泰幹 顧問 工藤 堯幸

会員三十三名。

日蓮宗霊断師会理事
慶音寺聖徒団团长

副团长 須藤 正裕
副团长 須藤 充康

〒四一九〇一四
静岡県田方郡南町仁田一六四―一―一
TEL〇五五―九七―八二四八九
FAX〇五五―九七―八二〇八一

宮・鹿・沖霊断師会

顧問 片寄 海心

監事 吉田 智雄

会長 吉田 静正

事務局 吉田 憲由

会計 吉田 貴徳

白野 裕子

海野 資子

日蓮宗青森県青森市本東寺聖徒団团长

副团长 吉田 海心

吉田 静正

〒八八二〇〇六二
宮城県延岡市松山町一―一三三
TEL〇九八二―三三―三八二七
FAX〇九八二―三三―三八七〇

大分県霊断師会
会長 廣田 学良
副会長 飯盛 義誠
監事 杉本 顕誠
三ヶ尻 正生
事務局長 後藤 一正
会 員 同

日蓮宗霊断師会三重県支部長
追分教会聖徒団团长

高鍋 鳳憲

〒五〇一〇八八二
三重県四日市市追分二―一五―一
TEL〇五九―三四六―三六七七
FAX兼用

日蓮宗霊断師会組織局組織部長
妙法寺聖徒団团长

三木 一乘

〒五〇一四一〇一
岐阜県郡上市美並町上田二〇八四
TEL〇五七五―七九―二〇五五
FAX兼用

日蓮宗霊断師会組織局事業部長
長榮山妙福寺聖徒団

大森 映孝

〒三三九一三二一
栃木県塩谷郡高根沢町亀梨五一―四
TEL〇二八―六七六―一二四七
FAX兼用

日蓮宗霊断師会指導局指導部長
照恵寺聖徒団团长

品田 祥皓

〒五五〇一〇四
北海道沙流郡平取町柴雲古津二―二―一七
TEL〇一四七―一一―三二二七
TEL〇一四七―一一―三二二七
FAX〇一四七―一一―三七九一

日蓮宗霊断師会指導局講師部長
蓮正寺聖徒団团长

飯盛 義教

〒八七九一五五〇
大分県由布市挾間町下市五三―六
TEL〇九七―五八三―〇五四六
FAX〇九七―五八三―〇六九八

日蓮宗霊断師会指導局研修部長
妙法寺聖徒団团长

蔵本 知宏

〒六九八〇〇二一
島根県益田市幸町一―一―一七
TEL〇八五六―三三―三〇二六
FAX〇八五六―三三―三〇四八

日蓮宗霊断師会伝道局布教部長
七面山道円寺(芦屋の七面様)聖徒団团长

飛鳥 玄龍

〒〇三八一三二二
青森県つがる市木造川除栄盛七
TEL〇一七三―四二―三六四九
FAX兼用

日蓮宗霊断師会伝道局聖徒部長
龍雲寺聖徒団团长

吉田 憲由

〒八八九一三〇一
宮城県児湯郡都農町川北三三七―二九
TEL〇九八三―二五―三三三五
FAX兼用

日蓮宗霊断師会総合研究所新日蓮教学研究部長
顕本寺聖徒団团长

小泉 輝泰

〒二九五〇〇〇二
千葉県南房総市千倉川合六九〇―一
TEL〇四七―〇四―一〇六二
TEL〇四七―〇四―一〇六二
FAX〇四七―〇四―一五二四

日蓮宗霊断師会総合研究所九識靈断法研究部長
妙泉寺聖徒団团长

石黒 泰良

〒四六一〇〇〇五
愛知県名古屋市中東区東桜二―一六―四三
TEL〇五二―九三―一八四九〇
TEL〇五二―九三―一八四九〇
FAX〇五二―九三―一八四九一

日蓮宗霊断師会総合研究所教育部長
妙親寺聖徒団团长

廣田 学良

〒八七〇〇八三三
大分県大分市上野丘西五―一五
TEL〇九七―五五五―〇七〇八
FAX兼用

聖徒の声



島根県 延福寺聖徒団 深津 榮子

私の『よろこび』は、島根県東光山延福寺様、そして梅木功健上人と出会えたことです。

毎月二日には「盛運祈願会」に出掛け、聖徒の皆様と顔を合わせ、深く重みのある俱生神月守をいただき、現在安心して毎日を過ごさせていただいています。

これまで、様々な不安や悩みに直面しましたが、その都度延福寺様へ行き、霊断の指導を受け、護られて来たと思えます。

第三十六回 日蓮大聖人の歩まれた道

鎌倉での修学(その三)



総合研究所 教学研究部長 小泉 輝泰

「所詮肝要を知る身とならばや」と思し故に、随分にはしりまはり、十二・十六の年より三十二に至るまで二十余年の間、鎌倉・京・叡山・園城寺・高野・天王寺等の国々々々あらあら習回り候し程に」 (妙法比丘尼御返事)

さて、いよいよ清澄を後にして鎌倉へ向かう道長ですが、諸州遊学の第一歩となる記念すべき旅路も、残念ながらその足取りを記すような記録は何も残されていません。同行の道連れがい

たのか、案内人に伴われての行程であったのか、はたまた全くの一人旅であったのか・・・、その辺の事情すら何も分からないのです。

以前、姉が難病と言われるギランバレン症候群重病にかかり、私は姉を助けたい一心でお上人様に九識霊断法をお願い致しました。「信ずる人は冬のごとし、冬は必ず春となる、必ず良くなられます」とお導きをいただき、一心にお題目を唱え、祈りを捧げました。おかげさまで、姉は十ヶ月で退院出来ました。

その後、兄が脳梗塞で入院した時も、薬にもする思いで延福寺様へ相談に行き、霊断やご祈禱をしていただきました。兄は六ヶ月で退院することが出来、お上人様の霊断の通りに元気になっていきました。

私は、この有り難い神秘・不思議を体験して、夫婦そろって月守を身につけ、毎日感謝のお題目を唱えています。日蓮大聖人様に見護られ、現在私たちが生かされ、「四誓の願行」(持ち・行い、

ばない地侍が横行する情勢の中では、十七、八の僧侶が一人旅をするには、あまりに危険が多すぎます。おそらくは何らかの案内人、あるいは旅慣れた同行の学徒が連れだつての旅だつたのではないのでしょうか。

鎌倉への道程は、大きく二つのルートが予想されます。まずは陸路ですが、当時はいわゆる鎌倉街道を利用する旅となります。

房州の街道が隅々まで大幅に整備されたのは、江戸との交易が盛んになった江戸時代ごろと言われていますので、きちんとした街道や宿はせいぜい上総の木更津くらいまで、それ以南にはそれ程便利な道はなかったものと思われ

れます。清澄からだと養老溪谷を抜けて久留里道で一気に木更津までの山道を行くか、鹿野山道(現在の長狭街道)で東京湾側の富津まで横断し、そこから



護り・弘める)を実践することこそ大きな『よろこび』になっています。これもひとえに功健上人が、すべての人に公平でわかりやすく、目配り気配り思いやりのある、優しい調和のとれた満足できるお上人様だからです。毎月、月守をいただき、島根県より兄姉の住む鳥取県の境港まで届けるのが、私の楽しみでもあります。高齢化が進む中、温もりのある未来のために、子供たちの笑い声が絶えない延福寺になつてほしいと思います。



海沿いを北上したのでしようか。下総国まで辿り着ければ、あとは京都まで続く東海道が始まりますので、武蔵国を抜け相模国の鎌倉に至ることとなります。このルートですと海沿いに最短ルートで行ってもおよそ五十里(約二百キロ)ほど、現在の東京都のイメージとは違い、当時の武蔵国はほとんど沼地ですので、実際にはもう少し迂回させられたことでしょう。大変な日数と労力を掛けての旅となります。

今一つは海路を使うルートです。清澄を出て陸路と同じく鹿野山道(長狭街道)、あるいはもう少し南側の街道を西へ向かえば、房総半島の反対側、富浦から富津にかけての東京湾岸まで至ります。そこから相模国、三浦半島へ向けて船で東京湾を横断するのですが、その距離は湾の最も狭い箇所ならば、わずか二里半(約十キロ)ほどです。湾の横断以外の道程を足しても、陸路の半分以下で目的地まで辿り着くことが出来ます。当時よりこの海路は盛んに利用されていたという話もありますので、こちらのルートの方がより現実的だったのではないかと思います。

いずれにせよ、週末にドライブがてらちよつと鎌倉まで・・・とはいかない時代のお話ですので、大変な思いをかけた旅路だったことでしょう。

法華経のお話 25



総合研究所主任 塩入 幹丈

無量義経の段その二十四

大轉輪王小轉輪王。金輪銀輪諸轉輪王。(無量義経徳行品第一)

①大きな夢は人に理解されない (本田宗一郎)

結局のところ、法華経がホントに伝えたかったこと、言いたかったこと、ほとんど「知らぬ、通じぬ!」状態だったわけですね(だからこそ、日蓮大聖人が登場される意味があるんです)。

されどいかに真意は伝わらぬとも、それで誰にも興味を持ってくれないマナーなお経になつてしまつては大変です。

代までに日本に伝わつた漢訳のお経(震旦で訳されたお経。法華経三部経も漢訳経典です)を総集した大全集に収録されたお経だけでも、千七十六部にして一万九百七十巻!更には日本に伝わらなかつたもの、そもそも震旦にさえ伝わらなかつたお経もあるわけですから、その数はまさに膨大!八千四百も、あなたがハツタリとは言えません。

それだけに、そのタイトルさえ滅多に耳にしない、いわば埋もれたお経も半端な数ではありません。たとえ一時は持て囃されても、時と共に忘れ去られて行つたお経も、多々あつたことでしょう。

その真意が理解されなかつた法華経とて、あるいは時の流れと共に忘れ去られ、埋没してしまつたリスクは大きかつたのではないのでしょうか・・・。

の丸薬が何であるかが書かれていない」が、古来から定番のフレーズとなるくらい、法華経に説かれていたことの大半は、まさにご利益ご利生の風だつたんですね。

③その者着き衣を纏いて金色の野に降り立つべし (大ババ)

折ることすらしない人、不思議なことを否定すれば賢いと思つている人には、確かに理解しがたい不都合なる事実なんだろうが、それでも法華経にご利益、ご利生があるのは、まさに厳然たる事実。

その事実を事実と認め、人々に實際の利益を授け続けたからこそ、たとえその真意は通じずとも、法華経信仰の火は消えることなく広がりがつづけ、ついに日蓮大聖人の代に行き着いたわけ

です。まさにご利益こそは法華経信仰の継続の要!

たとえクライマックスは終わつても、六章にもわたつて菩薩たちの競演が続いたのも、念には念を入れて、ご利益を喧伝するためだつたのです。そしてそこでもまた、最多登場で活躍されるお方こそが、あの薬王菩薩なのです。

薬王菩薩の何よりの願いは、法華経を未来の世、末法の世へと繋ぐこと、日蓮大聖人の元へと届けることだつたんですね。さればこそ、やがて薬王菩薩は自ら人の姿となつて、人の世の歴史に降り立つことになるのです。それも二度、かの震旦と、ここ日本の地に・・・。



②能書きはいいんだよ、能書きは (中尾彬)

されど法華経は決して埋もれず、それどころか逆に佛教史上必ずと言つて良いほど「有難いお経」、「大事なお経」として時と場所を超えて信仰され、受け継がれてきました。

この信仰の絶え間ない継続あればこそ、ついに日蓮大聖人の出番へと繋がつて行つたのです。

たしかに壽量御本佛の存在も、地涌の菩薩の重要さも、かつてはほとんど注目されませんでした。にも関わらず、法華経の人氣が衰えなかつた訳・・・。実はそれが、法華経の全編にわたつて説き示される「ご利益」だつたのです。

そう法華経といえ、それこそご利益のオンパレード。なにしろ法華経を忌み嫌う人の言いつつ「法華経には薬の効能は書いてあるが肝心

よろこび法話

一切衆生を救うお題目

～ある聖徒とペットのお話～



日蓮宗霊断師会 総務局 局長
青森県外ヶ浜町法華聖徒団
工藤 堯顯

現在、日本では猫と犬だけでも約二千万匹がペットとして飼われています。「よろこび」をご覧の聖徒の方もペットを飼われている方が多いと思います。大抵の方は、ペットショップに行き、かわいい子犬や子猫を買ってきて育てたり、又は貰ったりして育てておられるのではないのでしょうか。愛くるしい仕草を見たりしていると家族の癒しとなり、数年経つ頃には完全に家族の一員となつている場合が多いと思います。しかし、動物も人と同じくこの世に生まれると老いていき、病を患い死を迎えるのです。しかも人より平均寿命が短く、長生きする犬や猫でも二十年位が限度です。いつまでも家族を癒してくれるはずだと思つても、ペットは必ず私達より先に最期の

時を迎えるのです。最近では、ペットとの死別の悲しみから抜け出す事が出来ず、ペトトロス症候群という心の病を発症する飼い主も多くなつていく状況です。世間では、そこまでペットに依存すること自体がいけないのだという見解もあるようですが、ずっと家族同然の生活をしてこられた方々には本当に深刻な問題であり、これからも増えるであろうペトトロス症候群の方々を、決して無視するわけにはいきません。お題目の功德を戴いて、ペットも飼い主も苦しみから救われなければいけないのです。

私のお寺には、いつもお参りに来る明るい笑顔がとても素敵なMさんという若い女性の聖徒がいます。そんなMさんがある時、明らかにいつもとは様子が違い、ひどく落ち込んでいました。どうしたのかと話を聞いたところ、十数年飼っている猫が数日前からエサを食べなくなり、体重も激減したので獣医に診察してもらったところ、内臓疾患が原因の病で、全身麻酔をして手術をしなければいけないと言われたとのこと。治してあげたい反面、高齢の為手術に耐える事が出来なくてそのまま息を引き取るのではないかと不安がつり、飼い主である自分までもが心身共に不安定になつてきたとのことでした。

私はMさんのご依頼を受けて、早速「霊断」を取らせて頂きました。やはりMさんが心配されておられる通り、猫に手術を耐

えられる体力は残つておらず、病院から無事に帰る事は困難であるが、それでも一生懸命祈ることで今の状況より改善することは出来る、との御本仏様からの御教示を頂いたので、私はその通りのご指導をさせて頂きました。

Mさんは、その日のうちにペット用の御守袋を作り、首輪に俱生神月守を付けさせて、まるで病気の我が子をいたわるように涙ながらに「南無妙法蓮華経、南無妙法蓮華経・・・」と、何度も何度もお題目を唱えながら猫の体をさすり続けたのでした。至心唱題の功德、俱生神月守のご加護により、病の猫は三日目の朝に食欲が回復し、元気な姿に戻りました。それから一年間、Mさんのもとで元気に過ごした猫は、自らの寿命を全うして苦しむことも無く、Mさんの腕の中で静かに最期の時を迎えたのでした。

Mさんは、後日、猫の供養にお寺を訪れた時、私にこのように話してくださいました。「悲しい思いの中で、腕の中で冷たくなつていく猫ちゃんをみながら、本当に出会えて良かった、幸せな時間をありがとう、と伝える事が出来ました。こんな時間を戴けたのも、こういう気持ちになれたのもお題目、そして月守のおかげです。ありがとうございました。これからは、お題目で沢山供養してあげたいです」

私はその言葉を聞いて、本当にMさんと亡くなった猫は共にお題目の功德により包

まられたのだ、という感謝の気持ちでいっぱいになりました。

其中衆生悉是吾子
(その中の衆生はことごとく我が子なり)

日々私たちを見守つて下さっている御本仏様は、法華経の中で「この世の中の衆生(しゅじょう) 人間や動物、植物、これら生きとし生ける全てのものは、皆悉く我が子である」と、お示しです。親である御本仏様は、子供である私達を、いつの時も救い、導こうとして下さっているのです。Mさんとペットの猫の話からもお分かりのように、お題目を唱えることにより、御本仏様は「一切衆生(いっさいしゅじょう)」の苦しみを取り除いて下さるのです。

また、宗祖日蓮大聖人様も、卒塔婆に書かれたお題目に触れた風を浴びただけで、風下に住する魚や鳥さえも苦しみを抜け出し成仏することが出来る、とお示しです。Mさんの可愛がっていた猫はもうこの世にはいませんが、お題目の功德をその魂に

沢山受けて、無上の喜びを感じていることでしょう。この功德が縁となり、いつの日か人間として生まれ変わり、Mさんと再会できる日が来る事を願っております。



本誌イラスト 小川けんいち

砥森山 法華寺

生きて救われの道場

住職 阿部 是秀
副住職 阿部 是眞

〒028-0304
岩手県遠野市宮守町下宮守31-69-1
電話 0198-67-3166
FAX 0198-67-2227

正立山 妙法寺番神聖徒団

団長 新聞 信應

毎月1日 10時
盛運祈願祭

お困り事はすぐ相談

神秘秘密の扉が開く時、必ず利益がいただける。

〒690-2404 島根県雲南市
三刀屋町三刀屋1169
TEL 0854-45-3657
FAX 0854-45-3666

安房乃國隨一 三十番神祈願道場

顕本寺聖徒団

団長 小泉 輝泰

「1人で悩まず、まずは相談」

〒295-0002
千葉県南房総市千倉町川合690-1
TEL 0470-44-1062
FAX 0470-44-1524

信用第一の専門店

◇格調高い関東風仏具◇

宗務院指定

仏壇・仏具 仏像彫刻
内陣荘厳具 設計製作

(株)中野三佛屋

東京都台東区寿2丁目7の12
電話 03(3843)6951
FAX 03(3843)6973
定休日 日曜日

北海道運輸局長
認証工場(第4-1095号)です!

お車のことなら
どんなことでも!!

車買取のE-ス
TEL 0166-34-3606

(有)キクチ自動車
〒078-8346
北海道旭川市東光6条6丁目190-100
TEL/FAX 0166-34-3606